

## 鈴木財務・金融担当大臣

### G7ハイレベル・コーポレートガバナンス・ ラウンドテーブル 開会挨拶

2023年5月11日（於：新潟）

- 皆様こんにちは。財務・金融担当大臣の鈴木俊一です。本日は新潟までお越しいただきありがとうございます。G7議長国として、皆様をお迎えできることを大変喜ばしく思います。  
本日は、コーポレートガバナンスを巡る国内外の取組みについて、忌憚のない意見交換ができればと思います。
- 日本においては、企業の中長期的な価値向上を図る観点から、精力的にコーポレートガバナンス改革に取り組んできました。  
改革の一環として、G20/OECDコーポレートガバナンス原則を踏まえてコーポレートガバナンス・コードを策定し、2度の改訂を通じて、企業の取組みを後押ししてきました。
- こうした取組みを通じ、短期間で進展がみられるところですが、今後は、改革の実質化を図ることが重要です。
- 昨年9月には、ニューヨーク証券取引所における

岸田総理のスピーチにおいても、「日本のコーポレートガバナンス改革を加速化し、更に強化する」と発言があったところです。

- このため、金融庁において、昨年の秋以降、海外投資家等からの意見聴取を進め、本年4月、アクションプログラムを策定致しました。
- アクションプログラムにおいては、
  - ・ 真の企業価値向上に向け、企業と投資家における自律的な意識改革が重要であり、
  - ・ 収益性・成長性やサステナビリティを意識した経営に取り組むことが重要であるとの考え方のもと、幅広い施策を取りまとめました。
- サステナビリティを意識した経営については、G7のプライオリティにおいても、人的資本を含むサステナビリティ開示の推進を取り上げており、議長国としてリーダーシップを持って議論を進めてまいります。
- 今後は、アクションプログラムの各施策について、着実に実行に移していくことが重要であり、政府としても、企業や投資家の皆様との対話を深め、コーポレートガバナンス改革の取組みを推し進めていきます。
- また、日本は、国際的なコーポレートガバナンス改革の推進にも引き続き積極的に取り組んでいきま

す。

コーマン事務総長から紹介があると思いますが、日本の神田財務官が議長を務める OECD コーポレートガバナンス委員会は、現在、G20/OECD コーポレートガバナンス原則の見直しを進めています。さらに、20 年以上継続している OECD アジアラウンドテーブル等を通じて、アジア地域のコーポレートガバナンスの向上にも貢献していきます。

- 最後に、皆様の今後ますますのご繁栄、ご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(以 上)